

第18回 横浜市墓地等設置紛争調停委員会 会議録	
日 時	令和元年7月2日(火) 午前10時00分から午前11時30分まで
開催場所	関内中央ビル 特別会議室
出席者	委員会 ・岩下朗子委員 ・浦田修志委員 ・奥山喜躬委員 ・加藤慎委員 ・坂井文委員 ・玉越浩美委員 ・中西正彦委員 ・野呂芳子委員 ・松行美帆子委員・柳川雅子委員 ・吉井啓一朗委員 健康福祉局・比嘉健康福祉副局長 ・佐藤生活衛生課長 ・私市環境指導係長 ・他職員2名 ・半田環境施設課長 ・芝墓地等担当係長・高森墓地整備計画担当係長 (事務局)・小林相談調整課長 ・加藤墓地調整担当係長 ・他職員1名
欠席者	・金子忠一委員
開催形態	一部非公開 (傍聴者0人)
議 題	1 墓地計画の現状について 2 平成30年度 墓地実態調査結果について 3 横浜市営墓地等について 4 その他
決定事項	・会議録の確認方法については、各委員の確認を受けることとした。
議 事	<p>(事務局) 定刻となりましたので、ただ今より、第18回横浜市墓地等設置紛争調停委員会を開会させていただきます。私は、当委員会の事務局を務めさせていただきます健康福祉局総務部相談調整課長の小林でございます。よろしくお願いたします。開会にあたりまして、浦田会長より、御挨拶をお願いいたします。</p> <p><会長挨拶></p> <p>続きまして、比嘉横浜市健康福祉局副局長より御挨拶申し上げます。</p> <p><副局長挨拶></p> <p>ありがとうございました。議事を始めるにあたりまして、当委員会の会議の公開について、御説明申し上げます。当委員会の会議は、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第31条の規定に基づき、公開されております。</p> <p>一方、個人情報など非公開事項に係る場合や、会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営が著しく阻害されると認められる場合につきましては、当委員会の決定により、会議の全部または一部を公開しないことができることになっております。なお、傍聴者の定員につきましては、会場等の都合により5名とし、先着順による申し込みといたしましたが、申し込みはございませんでした。</p> <p>続きまして、本日、御出席いただいております委員の皆さまを御紹介させていただきます。名簿順で御紹介させていただきます。</p> <p><委員紹介></p> <p>続きまして、本日、出席しております職員の紹介をさせていただきます。</p>

<職員紹介>

(事務局) 本会の委員定数は12名、本日の出席委員は11名です。運営要綱の規定で、2分の1以上の出席により審議をすることとなっておりますので、その要件を満たしています。

それでは、公開議事に進みたいと思います。浦田会長、よろしくお願いいたします。

(浦田会長) はい、それでは、次第に基づき議事を進行してまいります。次第を御確認ください。本日の議事(1)から(4)については、事務局及び所管部署から報告をしてまいります。なお、本日は、このほかに、「紛争案件の状況について」等の議事もございます。この議事につきましては、個別案件に係わる内容でございますので、後ほど非公開議事として行いたいと思います。議事にあたりましては、御質問や御意見等をお伺いする場合には、議事録を作成する関係がございますので、発言される委員は、お名前をおっしゃってから御発言をしていただく、ということで御協力をお願いいたします。それでは、議事に入ります。

議事の(1) 墓地計画の現状について事務局から説明をお願いします。

【議事(1) 墓地計画の現状について】

<(事務局) 資料1に基づき、民営墓地の計画の現状について説明>

(坂井委員) 資料の面積は本事業対象の面積ですか。

(事務局) ③、⑧はすでに霊園として経営しており、霊園全体の面積です。拡張部分を含んでいます。

【議事(2) 平成30年度 墓地実態調査結果について】

(議長) それでは次の議事に入らせていただきます。(2) 平成30年度墓地実態調査結果について、所管課から説明をお願いします。

<(生活衛生課長) 資料2に基づき、平成30年度墓地実態調査結果について説明>

(中西委員) アンケートの質問項目は毎年同じですか。

(生活衛生課長) 同じ項目でございます。

(中西委員) 市民寄与率や空き区画の経年変化を知りたいです。

(事務局) 昨年度の資料を見ますと、回答があった施設は73施設でしたが、総調査区画数80,441区画、空き区画14,121区画、空き区画率は17.6%でした。市民寄与率は、使用権設定が1,898区画、市民へ設定された区画は1,356区画、寄与率は71.4%でした。過去の経年変化については、後日、各委員へ報告させていただきます。

(中西委員) この調査は、義務的な規定はありますか。

(生活衛生課長) 義務ではありません。

(中西委員) 運営上の問題点なども聞いていただくと良いかと思います。

(浦田会長) 市民寄与率が昨年度の71.4%から85.3%に上がっていますが、要因等ありますか。

(生活衛生課長) 上がっている要因については、調査を行っておりませんので、わかりません。

【議事(3) 横浜市営墓地等について】

(議長) それでは、続きまして資料3になりますが、(3) 横浜市営墓地等について説明いただきたいと思います。

<(半田環境施設課長) 資料3に基づき、横浜市営墓地等について説明>

(中西委員) 3、市営墓地の整備についてですが、市民アンケート調査から、10万

	<p>区画の整備が必要となっていますが、葬送が変化し、必ずしも墓地に入らなくていいという人も増えている中で、社会状況も変わってきており、全体の墓地の需要が変動するのではと思っていますが、その辺をどう考えていますか。意向を踏まえての整備計画ですか。予測するのは厳しいと思いますが。</p> <p>(半田環境施設課長) 5年に一度、市民アンケート調査を行っており、どのようなお墓に入りたいのか。墓地の形に関しても、どのようなニーズがあるかの調査を行い、それに合わせて柔軟に考えていきます。</p> <p>(中西委員) 単純に需要数だけでなく、お墓の質についても検討が必要と思われる。</p> <p>(半田環境施設課長) 柔軟に対応しています。</p> <p>(坂井委員) 今後、公園型の墓地を整備するようですが、方針の表れでしょうか。</p> <p>(半田環境施設課長) 昔ながらの墓石が立っているよりは、緑豊かな公園型墓地を望む声がアンケートからもニーズが高いようです。</p> <p>(坂井委員) 2、市営墓地の使用者募集についてですが、三ツ沢墓地などは使用者募集を行っていないようですが。</p> <p>(半田環境施設課長) 既存墓地は空き区画の整理をおこない、これまでの10年間、久保山、三ツ沢、日野の3墓地を循環利用で募集を行っています。来年度も空き区画の整備が整い次第、募集をかけていきます。</p> <p>(坂井委員) 新規に整備するものと循環利用するものの2つの事業があるのですね。</p> <p>(半田環境施設課長) はい、そうでございます。</p> <p>【議事(4) その他について】</p> <p>(議長) それでは、公開議事の最後、議事の(4) その他 について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局) 今回の委員会の会議録の確認でございますが、当委員会の運営要綱に基づき、各委員に会議録を確認することとなっております。</p> <p>事務局で会議録を作成後、本日御出席の委員の皆様へ会議録を送りますので、御確認いただきたいと思っております。</p> <p>(議長) ありがとうございます。それでは、以上で公開議事は終わりますが、ここまでを通じまして何か、御質問や御意見がございましたらお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。ないようでしたら、これで公開議事は終わります。以上を持ちまして第18回調停委員会の公開議事は終了いたします。議事の進行に御協力をいただきましてありがとうございました。</p> <p>なお、これ以降の会議は「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第31条のただし書きの規定により、非公開といたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <p><個別案件の状況については、非公開で審議することとした。></p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 墓地計画の現状について (資料1)</p> <p>(2) 平成30年度 墓地実態調査結果について (資料2) (資料2追加)</p> <p>(3) 横浜市営墓地等について (資料3)</p> <p>(4) その他</p>

第18回 横浜市墓地等設置紛争調停委員会

次 第

〔 日時：令和元年7月2日(火) 午前10時から
場所：関内中央ビル 特別会議室 〕

1 開 会

2 議 事

(1) 墓地計画の現状について 【資料1】

(2) 平成30年度 墓地実態調査結果について 【資料2】

(3) 横浜市営墓地等について 【資料3】

(4) その他

資料 1

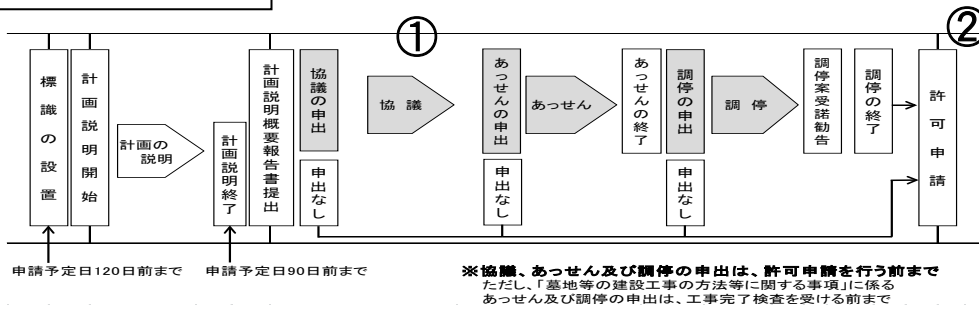
墓地計画の現状

令和元年 6 月 28 日現在

< 改正前条例適用 >

No.	標識設置年度	墓地納骨堂	計画地	用途地域	事業型 檀家型	面積 (㎡)	区画数	計画内容	進行状況
①	15年度	墓地	戸塚	調整区域	事業型	9,654.80	1,900	新規	協議中
②	22年度	墓地	戸塚	調整区域	檀家型	7,813.88	448	新規	申請中*

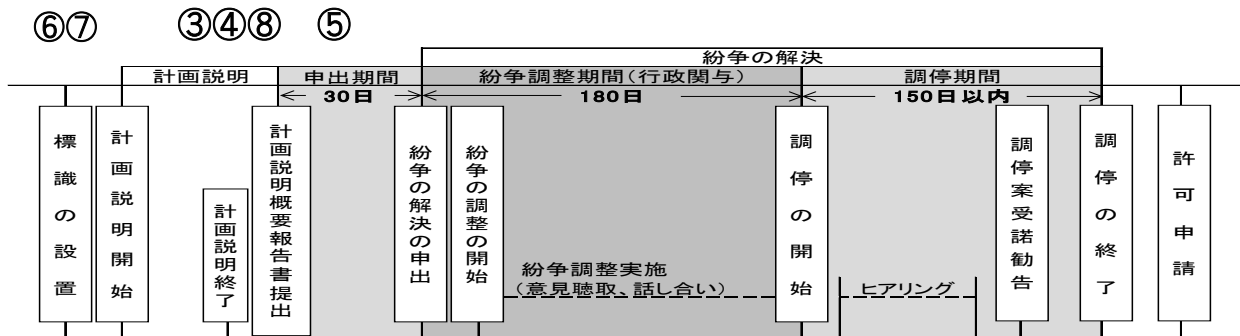
改正前条例の紛争調整の流れ



< 現条例適用 >

No.	標識設置年度	墓地納骨堂	計画地	用途地域	事業型 檀家型	面積 (㎡)	区画数	計画内容	進行状況
③	27年度	墓地	都筑	調整区域	事業型	6,925.00	1,380	拡張	説明会終了
④	30年度	墓地	港南	市街化区域	檀家型	219.65	2	拡張	説明会終了
⑤	30年度	納骨堂	神奈川	市街化区域	檀家型	144.82	1,560	新規	紛争解決申し出期間
⑥	30年度	納骨堂	南	市街化区域	檀家型	50.30	50	新規	標識設置
⑦	30年度	納骨堂	保土ヶ谷	市街化区域	檀家型	21.43	80	新規	標識設置
⑧	31年度	墓地	戸塚	調整区域	事業型	34,513.21	1,912	拡張	説明会終了

現条例の紛争調整の流れ



平成 30 年度 墓地実態調査結果について

1 調査内容

次の調査対象施設について、平成 29 年度末（平成 30 年 3 月 31 日）現在の状況の調査を実施しました。

(1) 調査対象

平成 6 年度から平成 29 年度までに経営許可をした墓地のうち、調査日現在までに、使用権設定を開始している墓地：98 施設

(2) 回答数

内 訳	調査施設数	回答返送施設数	回答率
事業型墓地	57	47	82.5%
檀家型墓地	41	35	85.4%
合 計	98	82	83.7%

2 調査結果について

上記調査施設のうち、回答があった 82 施設の設定状況をまとめました。

(1) 総調査区画における空き区画数と割合

総調査区画	空き区画	空き区画率
75,495 区画	14,839 区画	19.7%

(2) 平成 29 年度の使用権設定区画における市民寄与率

使用権設定区画	市民へ設定された区画	市民寄与率
1,774 区画	1,514 区画	85.3%

(3) 永代供養墓設置割合

有	無	検討中
57 施設 (69.5%)	15 施設 (18.3%)	10 施設 (12.2%)

墓地

資料2（追加）

過去5年間における墓地実態調査結果の経年変化

返送率

年度(平成)	25	26	27	28	29
全施設数	89	89	90	94	98
回答施設数	75	75	71	73	82
返送率	84.3%	84.3%	78.9%	77.7%	83.7%

空き区画数

年度(平成)	25	26	27	28	29
総区画数	82,759	84,135	77,752	80,441	75,495
空き区画数	19,368	17,500	14,712	14,121	14,839
空き区画率	23.4%	20.8%	18.9%	17.6%	19.7%

市民寄与率

年度(平成)	25	26	27	28	29
単年度使用権設定区画	3,848	2,623	2,346	1,898	1,774
市民へ設定された区画	2,951	1,894	1,749	1,356	1,514
市民寄与率	76.7%	72.2%	74.6%	71.4%	85.3%

永代供養墓設置施設割合

年度(平成)	25	26	27	28	29
調査施設数	75	75	71	73	82
設置施設数	44	45	44	48	57
設置率	58.7%	60.0%	62.0%	65.8%	69.5%

横浜市営墓地について

1 市営墓地の現状

平成 31 年 4 月現在

施設名	所在地	総面積 (m ²)	墓域 面積 (m ²)	規模	開設年
久保山墓地	西区元久保町	126,213	102,777	14,307 区画	明治7年
根岸外国人墓地	中区仲尾台	7,610	2,906	1,082 区画	明治35年
三ツ沢墓地	神奈川区 三ツ沢上町	50,302	33,639	7,454 区画	明治41年
日野公園墓地	港南区	278,928	92,829		
墳墓地	日野中央1丁目			15,015 区画	昭和8年
壁面式納骨施設				450 基	平成5年
合葬式納骨施設				6,000 体	平成5年
メモリアルグリーン	戸塚区俣野町	約 61,000	約 20,000		平成18年
芝生型納骨施設				7,500 区画	
合葬式樹木型 納骨施設				3,000 体	
合葬式慰霊碑型 納骨施設				12,000 体	
久保山霊堂	西区元久保町	3,324 敷地面積	3,066 延床面積		昭和32年
家族納骨壇				2,000 基	昭和57年
焼骨短期保管施設				910 体	改築
日野こもれび納骨堂	港南区	3,745 敷地面積	1,447 延床面積		平成30年
自動搬送式納骨施設	日野中央1丁目			6,500 基	
合葬式納骨施設				20,000 体	

2 市営墓地の使用者募集

平成30年度に供用開始した日野こもれび納骨堂の使用者募集を行っています。また久保山墓地、三ツ沢墓地、日野公園墓地の返還等による未使用区画についても、平成23年度から使用者を募集し、循環利用を行っています。

(1) 平成 30 年度の募集結果

納骨種別	申込区分	募集数 (当初募集数)	応募数	倍率	抽選	
日野こもれび納骨堂 (自動搬送式)	遺骨保持	780 基	309 通	—	無抽選	
	生前・改葬	520 基	455 通	—	無抽選	
日野こもれび納骨堂 (合葬式)	1 体分	遺骨保持	270 枠	200 通	—	無抽選
		生前・改葬	271 枠 (270 枠)	271 通	—	無抽選
	2 体分	遺骨保持	204 枠 (180 枠)	383 通	1.88	抽選
		生前・改葬	202 枠 (180 枠)	1,341 通	6.64	抽選
久保山墓地 (一般墳墓地)	遺骨保持	300 区画	321 通	1.07	抽選	
合計		2,547	3,280 通			

(2) 令和元年度の募集予定

ア 募集対象墓地及び募集区画数

(ア) 日野こもれび納骨堂（自動搬送式納骨施設）	1,300 基
（合葬式納骨施設）	2,200 体
(イ) 久保山墓地（一般墳墓地）	300 区画

(3) 日野こもれび納骨堂（平成 30 年度供用開始）の概要

- ・ 自動搬送式納骨施設 6,500 基
- ・ 合葬式納骨施設 20,000 体

※使用者募集は供用開始からおおむね 10 年かけて行う予定です。

3 市営墓地の整備

平成 29 年度に実施した横浜市墓地に関する市民アンケート調査や、将来人口推計により、平成 29 年から令和 18 年までの 20 年間で、公民合わせて約 10 万区画の墓地整備が必要であると推計しています。

増加する墓地需要に対応するため、次の墓地計画を進めています。

(1) （仮称）舞岡墓園（令和 3 年度供用開始予定）

- ・ 芝生型納骨施設 6,000 区画
- ・ 合葬式樹木型納骨施設 1,500 体
- ・ 合葬式樹林型納骨施設 1,500 体
- ・ 合葬式慰霊碑型納骨施設 10,000 体

(2) 旧深谷通信所における公園型墓園（「深谷通信所跡地利用基本計画」より）

- ・ 芝生型納骨施設 約 15,000 区画
- ・ 合葬式納骨施設 約 30,000 体

(3) 旧上瀬谷通信施設における公園型墓園

土地利用の要素の中で、整備する方向で検討する機能・施設のひとつとして、公園型墓園をあげています。